

秦 師範 様

国際青少年大会、世界大会とご苦勞様でした。いつもお世話になりありがとうございます。

お陰様で息子も幼稚園の時からの出場で、今年で6度目の国際青少年大会への出場となりました。

今となっては4歳の時に初めて道場に連れて行った時の事を懐かしく思います。初めに極真空手を習わそうと思ったきっかけは、「いじめられない強い心と体それと礼儀作法」を学ばせたいと思い極真空手を選びました。

極真空手というのは、直接打撃性で他のスポーツより厳しい世界だと思います。その厳しい中で強く立派な大人になってもらいたいという思いからでした。今回、国際青少年大会で優勝できましたが、息子が入会当時の目標は「小学生の間に小さい大会で一度でも優勝できたらいいな」という思いでした。それが、こんな大きな大会で優勝できるようになり嬉しく思います。奈良支部あつての事と感謝しております。

これからもまたの目標に向かって家族共々頑張っていきたいと思います。親にとっての目標は、子供を立派な大人に育てる事だと思います。そして、子供が極真空手を通じ一つの目標に向かって、より一層の努力をし続けてもらいたいと思います。又、大きな声で挨拶をする！返事をする！自分の考え方や意見をしっかり言える！そういう人間として当たり前な事を当たり前出来る人になってもらいたいと思っています。

入会した時は嫌がっていた息子も今では道場に稽古に行く事が楽しいようです。秦師範、三浦先生、他の先生方のお蔭だと感謝しております。

本当にありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

第7回国際青少年空手道選手権大会
10歳男子の部（－40kg）
優勝 大國谷 侑也
父 大國谷 長明 記

敬具